

プラスチックごみ箱アート

海洋汚染が問題になって
いるプラスチックごみに関
心を持ってもらおうと、熊
本市西区の崇城大で18日、
芸術学部の学生たちが大学
構内のごみ箱をアートにし
た作品展示が始まった。

制作したのは美術学科の
3年生5人。社会問題を作
品化する授業で「プラごみを
扱ったことから、「他の学
生にも考えてもらおう」と
構内のごみ箱をアート作品
にする企画を思いついたと
いう。

作品の素材は、学生が拾
い集めたり自宅から持って
きたりした「本物のごみ」。

崇城大生が制作

海洋汚染 考えよう

ごみ箱は、特に人通りの多
い屋外広場やカフェ横の4
力所を選んだ。

ペットボトルが体に詰ま
ったウミガメなどを制作
し、海への深刻な汚染を訴
えた中嶋奈菜子さん(21)は
「作る中で、包装素材の無
駄にも気が付いた。ごみを
捨てる時、一人一人に何
かを感じてもらえたら」と
話した。

作品展示は21日正午ごろ
まで。20日午前11時から学
生によるギャラリートアー
もある。問い合わせは110
96(3226) 4038。

(綾部庸介)



①制作した芸術学部3年生の池田さん(左)と中嶋さん
②作品と一体化したごみ箱にペット
ボトルを捨てる学生